

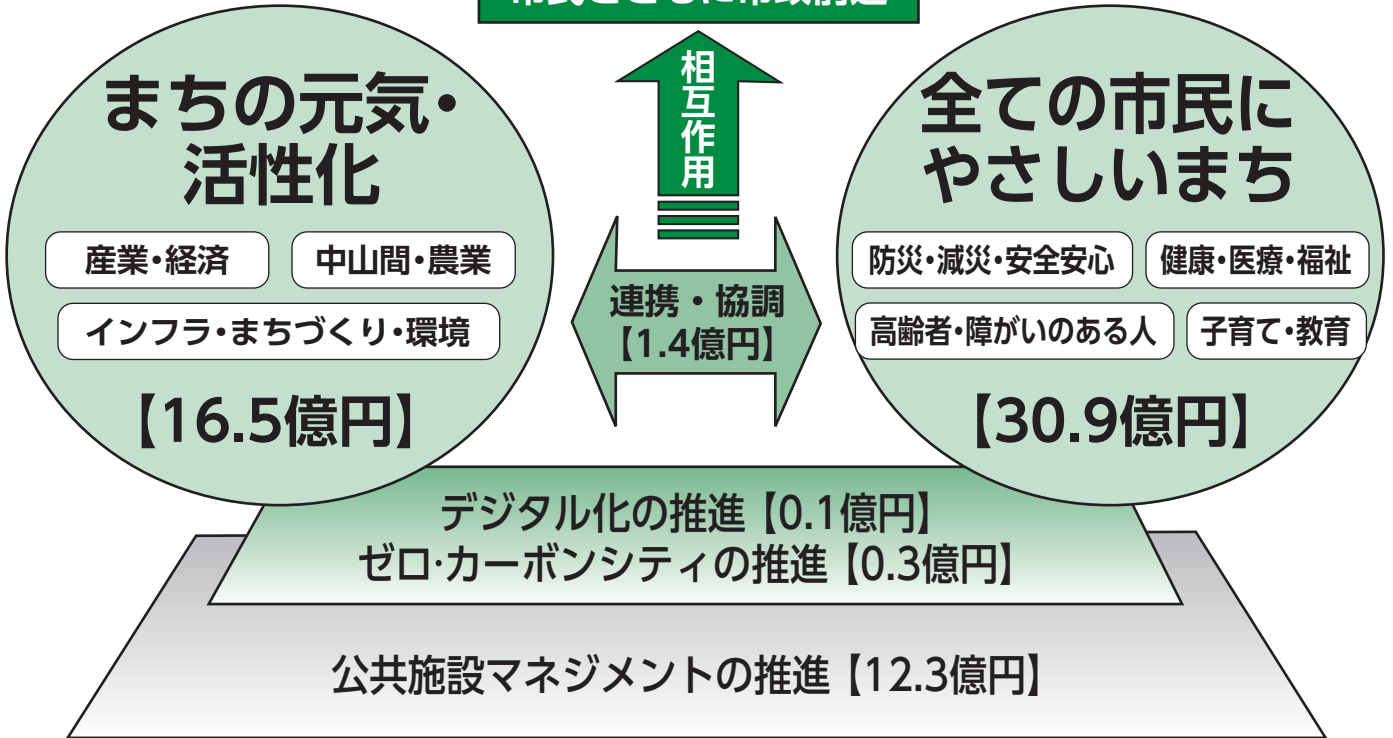
令和8年度 一般会計予算 536億5千万円を可決

特別会計(15会計) 227.4億円
企業会計(1会計) 65.1億円

第1回定例会

2月定例会は、2月24日から3月17日までの22日間で開催し、令和8年度一般会計予算他の議案を審議し、議決しました。

市民とともに市政前進



予算特別委員会の概要

予算特別委員会では、各会計予算及び関連議案について、3月9日から12日までの4日間にわたり慎重に審査し、全ての議案を可決すべきものと決しました。
審査の過程では多岐にわたる質疑が行われました。主な内容は次のとおりです。

一般会計予算

〔総務費〕

問 行政デジタル化推進事業に関し、進展するAI技術の活用について、本市の考え方を問う。

答 AIコーデイネーターを設置しAIに関する助言やリテラシー向上を目的とした研修支援などを実施している。また、業務効率化や施策立案に活用したり、AIに任せられる業務は委ねることで、人にしかできない業務に重点的に取り組んでいけるようにしたい。

〔民生費〕

問 「こどもおしごとチャレンジ」について、予算が大幅に増額となった理由を問う。

答 既存の仕事体験イベントは希望者が多いため、1日開催から2日開催に拡充することに加え、新たに起業体験講座を開催するためである。この起業体験講座は、主体性や課題解決能力の育成支援を目的に、仕事をつくるという新たな

な視点で実施するものである。

〔農林水産業費〕

問 熊やイノシシが市街地に出没するなど緊急時に、市の判断で、銃により捕獲や駆除することができると緊急銃猟の発動に向けた取組について問う。

答 県が実施した机上訓練及び実地訓練に本市職員が参加し、発動を想定した取組を進めている。猟友会員の銃猟免許所有者にも説明会に参加していただき、万一の発動時には、安全確保を最優先に対応できるよう関係機関と連携を密にしていく。

